

5.08(b)	正式試合の最終回の裏、または延長回の裏、満塁で、打者が四球、死球、その他のプレイで一塁を与えられたために走者となったので、三塁走者が本塁に進まねばなくなり、得点すれば勝利を決する1点となる場合には、球審はその走者が本塁に触れるとともに、打者が一塁に触れるまで、試合の終了を宣告してはならない。	正式試合の最終回の裏、または延長回の裏、満塁で、打者が四球、死球、その他のプレイで一塁を与えられたために走者となったので、 打者とすべての走者が次の塁に進まねばなくなり、三塁走者が得点すれば勝利を決する1点となる場合には、球審は三塁走者が本塁に触れるとともに、打者が一塁に触れるまで、試合の終了を宣告してはならない。
5.09(a)(1)	【原注1】末尾 正規の捕球の後、野手がダッグアウトの中またはボールデッドの箇所に倒れこまない限り、ボールインプレイである。走者については5.06(b)(3)(C)【原注】参照。	正規の捕球の後、野手がダッグアウトの中またはボールデッドの箇所に 踏み込んだり、倒れ込んだ場合、ボールデッドとなる。 走者については5.06(b)(3)(C)【原注】参照。
5.09(b)(9)	後位の走者がアウトとなっていない前位の走者に先んじた場合。(後位の走者がアウトなる)	【原注】後位の走者の行動または前位の走者の行動によって、後位の走者は前位の走者に先んじたとみなされる場合がある。 例一1アウト走者二・三塁のとき、三塁走者(前位の走者)が本塁へ進塁しようとして三塁本塁間のランダウンプレイとなった。二塁走者(後位の走者)は前位の走者がタッグアウトになると思い、三塁に進んだ。三塁走者は触球されずに、三塁に戻り、左翼方向に塁を踏み越えてしまった。このとき、後位の走者は、前位の走者の行動によって前位の走者に先んじたことになる。結果として、後位の走者はアウトとなり、三塁は占有されていないことになる。前位の走者が三塁を放棄してアウトと宣告されていない限り、前位の走者はアウトになる前に三塁に戻れば三塁を占有する権利がある。 5.06(a)(1)参照
5.09(c)(3)	走者が一塁をオーバーランまたはオーバーライドした後、ただちに帰塁しないとき、身体または塁に触球された場合。(5.09(b)(11)参照)	走者が一塁をオーバーランまたはオーバーライドした後、ただちに帰塁しないとき、 一塁に帰塁する前に 身体または塁に触球された場合。(5.09(b)(11)参照)
5.12(b)(6)	野手が飛球を捕らえた後、ベンチまたはスタンド内に倒れこんだり、ロープを越えて観衆内(観衆が競技場内まで入っているとき)に倒れ込んだ場合。 走者に関しては5.06(b)(3)(c)の規定が適用される。 野手が捕球後ベンチに踏み込んだり、倒れ込まなかったときは、ボールインプレイであるから、各走者はアウトを賭して進塁することができる。	野手が飛球を捕らえた後、ボールデッドの箇所に 踏み込んだり、倒れ込んだ場合。 各走者は、アウトにされるおそれなく、野手がボールデッドの箇所に入ったときの占有塁から1個の進塁が許される。 削除
6.01(a)(1)	第3ストライクの後、打者走者が投球を処理しようとしている捕手を明らかに妨げた場合。	捕手に 捕球されていない 第3ストライクの後、打者走者が投球を処理しようとしている捕手を明らかに妨げた場合。
6.01(j) 追加		(j) 併殺を試みる塁へのスライディング 走者が併殺を成立させないために、“正しいスライディング”をせず、野手に接触したり、接触しようとするれば、本条によりインターフェアとなる。 本条における“正しいスライディング”とは、次のとおりである。走者が (1) ベースに到達する前からスライディングを始め(先に地面に触れる)、 (2) 手や足でベースに到達しようとし、 (3) スライディング終了後は(本塁を除き)ベース上にとどまろうとし、 (4) 野手に接触しようとして走路を変更することなく、ベースに達するように滑り込む。 “正しいスライディング”をした走者は、そのスライディングで野手に接触したとしても、本条によりインターフェアとはならない。また、走者の正規の走路に野手が入ってきたために、走者が野手に接触したとしてもインターフェアにはならない。 前記にかかわらず、走者がロールブロックをしたり、意図的に野手の膝や送球する腕、上半身より高く足を高く上げて野手に接触したり、接触しようとするれば、“正しいスライディング”とはならない。 走者が本項に違反したと審判員が判断した場合、走者と打者にアウトを宣告する。その走者がすでにアウトになっている場合については、守備側がプレイを試みようとしている走者にアウトが宣告される。 【注】追加 わが国では、所属する団体の規定に従う。